資本主義下の自由

それは〃自殺する自由〃でしかない

向坂教授大いに語る

鉱組では最も進歩的な社会経済学者として定評のある向坂逸郎博士はじめ湯村武人、奥田八二（以上九大）川口武彦（佐大）の諸教授を招いて四日午後五時から本部会議室で講演並に座談会を開催したが、社会主義の本質から再軍備論批判その他各方面に亘り極めて示唆に富んだ内容で、有意義に会を終つた。向坂博士の談話要旨を抄録すると大要次のようである。

社會主義者を犯罪者扱い

大正の半ば頃までは社会主義という事が非常に悪い事のように吹込まれ、その為私の最も尊敬している山川均氏の如き十二、三年にも亘る牢獄生活を送られた。現在東京の社会主義協会には十年一日の如く社会主義の研究にたずさわつている多くの人達が居るが、特に山川氏は私の最も尊敬する人物で政治上その他の意見は眞つ先に山川さんに聞き、且つ尊重しているが、花作りが巧い見るからに好々爺で自伝「或る平凡人の生涯」を読んで見ても我々と同じ生活、同じ悩しさが見られ、そんなに際立つた人物ではないが、その平凡人が覚悟の決め方、努力の仕方でこんなにもなれるものかとたゞたゞ頭が下る。

人間が・・・コワレルのは一向平氣

―資本主義の本體！

社会主義と云う事は決してむつかしいものではなく、基本的には勤労する人間が社会の中心になり、それらの意見を反映して政治が行われ、経済が運営されると云う事でしかない。それを何故政府や資本家がこわがつたかといえば、資本家が資本を私有して労働者にくい物にしているのを民衆の手にとり戻そうとするからである。例えば先の炭労ストで保安要員を引揚げた時、彼等は設備がコワれる事には非常に敏感だが、労働者が低賃金からくる生活苦で〃コワレル〃ことには一向平気だというような態度からもその事がうかがえると思う。労働者は首切られたら死ぬよりない。今日自由諸国の自由とは「餓死し、自殺する自由」でしかない。池田前蔵相は流石にその失言の故にやめさせられたが、産業政策が悪くて自殺者が出たからといつて政府の当路者が殺人罪に問われる事はなく資本家も労働者をなしくずしに殺しても同様罪には問われない。このような私有者の居ない生産手段を勤労者が共有する、これが社会主義社会である。

メーデーの群衆に涙する山川均氏

写眞は座談会場立てるは向坂教授

明治、大正時代は社会主義思想と労働者を引離す事ばかり考え、そういう思想を吹き込む者を隔離すると共に治安維持法で組織の発展を阻止するなど厳しい弾圧政策がとられた事にくらべれば、今回自由に論ずる事が出来るようになつた事は民主々義の大変な進歩といわざるを得ない。私は労働者の中に社会主義思想を浸透させる為大正十年頃から運動に参加、ポケツト・マネーを出し合つて初め「労農」という雑誌を出したが二年程でつぶれ、次いで「前進」を出し昭和十一年頃まで細々と続いたが度々発禁処分を受け気息奄々たるものであつた。終戦後総評の高野書記長らと共に労働運動に稗益する事を目的に二年程前から「社会主義」を発刊、現在七千部程度を発行し赤字も僅かに済んでいるので何とかこれを持ち耐えて行きたいと考えて居る。

山川氏は去年のメーデーに東京だけで四十万人もの人が参加したという事だけで涙が出る程嬉しいと感想をもらして居られたが、私等の「社会主義」も二年続き見透し得る将来においてつぶれそうもないという事は同様この上もなく嬉しい。

資本家が儲ければ川が汚くなる

私は大牟田の出身で、明治卅年上宮町で生まれた。父が三井物産につとめて居た関係で各地を転々としたが中学、高校まで大牟田に住んで居た。三池港が潜高設備を持たない以前の古い大牟田を知つて居る。当時大牟田川は今のような色とりどりのドブ川ではなく、川と云える程度に澄んだ水が流れ、鮒もとれ、仕掛花火や夕涼みの場所でもあつた。それが三井資本の繁栄につれて段々汚なくなつた。世界のどこの国でも、市内に汚ない河川が流れる事はない。綺麗にする方法は幾らでもある。資本家が儲ける事以外如何に市民の生活を考えないかゞわかる。

資本主義の遺産繼ぐ者近代労働者

大牟田はかつての人口一万数千から現在廿万に膨脹、日本一の炭鉱と大化学工場が建ち並び有数の鉱工業都市に発展した。これは好い事にちがいないが、一方では労働者の生活を構わないで富が築かれ全体として文化を高める事には些かも役立つて居ない。労働者こそ社会の富を作り、将来の文化を築く者である事を私は確信して居る。大牟田を想う度に私を楽しくさせるのは牧歌的時代に対する回想ではなく、皆様のような近代労働者が五、六万も居られると云う事である。

資本主義が生産を発達させては来たが、これ以上の発達によつても生活、文化の向上には役立たないと云う事実からして労働者が誇りをもつて資本主義の遺産を受け継ぎ新しい社会を作り上げて行くべきだと思う。日本でも大牟田程高度の技術と設備を持つて居る所はない。その大牟田の労働運動が日本のそれをリードするまでに発達しつゝある事を聞く程嬉しい事はない。高い理想を実現させる為一歩一歩前進して頂くよう祈るものである。

この一票が生活を守る

もう戰爭はイヤだ

私達は平和を欲する

衆議院総選挙と参議院通常選挙の立候補届は四日で締切られ、愈々中盤戦より追込戦に入ろうとしている。衆院は定数四六六名に対し二・二四倍弱の一、〇四二名、参院全國區は定数五三名に対し二四〇名で四、五三倍弱、同じく地方區は定数七五名に対し二二〇名の二、九三倍となつている。その各々が金星を射とめんと保守陣営では経團連と組んで財力の壓力を加えれば革新陣営では組織の團結でこれを喰止め一人でも多く國會へ代表を送ろうと懸命の努力を拂つている。

衆議院立候補數

自由	三一六
改進	一七〇
右社	一一七
左社	一〇八
分自	一〇一
労農	一二
共産	九二
諸派	一三
無所属	一一三
合計	一〇四二

（婦人 二二名）

参議院立候補數

党派	全国区 計	地方区 計	総計
自由	三八	四六	八四
緑風	二三	一二	三五
右社	一六	二四	四〇
左社	二四	二六	五〇
改進	一七	二六	四三
労農	一	三	四
分自	一	八	九
共産	三	一三	一六
諸派	一三	二	一五
無所属	一〇四	六〇	一六四
合計	二四〇	二二〇	四六〇

（婦人 二九名）

福岡縣三區の展望

定員五名に対し前回は十四名の出馬であつたが、こんどは十一名に減つた。それだけにツブがそろつて当選確実を期している。この三区は昔より保守派の強い地盤と定評があつたが、近代工業の発達と労働組合の進出によつて革新陣営の進展がめざましくなつてきた。大牟田の大地評が推薦する田中稔男氏（左社）のほか農村票を基盤とした稲富稜人氏（右社）らが今回も立候補した。前回落選してこんど立候補を断念した龍野喜一郎、豊福保次、宮崎小市氏の合計五万三千票が勝敗のカギとなるとして最低五万票獲保に全候補が死力をつくしている。

社會黨左派

前回四万六千九百票で第二位に当選した田中稔男氏を今回も組織労働者が推薦し各組織が決定した全國区参議、地方区参議と併せて強力な運動を展開している。田中候補も病身をおして本月初旬からトラックでかけ廻り立ち遅れ気味の失地挽回を期している

社會黨右派

前回二千票足らずで落選し次点となつた稲富稜人氏が雪辱を期して八女、浮羽の両郡を中心に農民組合、右派系労組の支持で着々地盤を強化している。中央からも浅沼稲次郎氏がかけつけ応援弁士をつとめ有力な駒を進めている。尚立候補しなかつた豊福氏の前回得票の二万一千票の大部分が稲富候補に流れるものと選挙通はみている

吉田自由黨

こゝからは現運輸大臣の石井光次郎氏、元内相の山崎巌氏の二氏が出馬している。石井候補は現大臣の肩書を強みに久留米を中心に働きかけている。

山崎候補は兄達之輔氏の地盤をそつくりと次期大臣になれる、なる？の宣伝や噂で三瀦一帯の町、村議会、青年、婦人層の支持で有力な進出を期している。尚今回立候補しなかつた龍野喜一郎氏の二万六千九百票の大部分が山崎氏に行くのではないかとみられ前回より優位である。

鳩山自由黨

前回落選した元衆議院議員の甲木保氏が山崎候補と一戦を交えんと締切ぎわの二日鳩山自由党を名乗つて出馬、龍野氏の獲得票を山崎候補とゝりあいの形でこゝでも中央の吉田、鳩山の争いが縮図として今次選挙に展開されそうである旧自由党の反山崎派を糾合して自己の地盤と龍野氏の得票を合せて食い込まんとしている。

改進黨

改進党は荒木万寿夫、樋橋渡の両前代議士で南北に陣を構え自由党地盤、革新陣営え色気を見せての選挙戦である。

荒木候補は元大牟田市長の肩書と再軍備強硬論者の芦田均氏の股こうとして人に知られている。今次の選挙では会社関係の支持をうけ正面より炭労ストの批判をなして労働大衆に堂々の挑戦をうち出してきている。地盤の三池、山門では政治ズレしたことが批判されているが大牟田での労働者が推す田中候補の地盤食い込みと前回樋橋氏に流れた改新党系の票が左右する様である。

樋橋渡氏は落選の汚名を雪辱前回は最高で当選した。怪物と称される彼が今回令嬢、奥方の声援を得ずして果して前回同様最高を獲ち得るかみものである。

自由黨非公認

自由党で非公認の高橋権六氏が悲願達成にかつての絶対地盤である八女の開拓に主力を注いで立候補している様で稲富候補との戦が激烈であろう。

堤八郎氏もひやめしぐいの方で今回も公認として出馬し久留米を中心に着実に駒を進めているので石井候補も相当な痛手である。

共產黨

前回地下から立候補し姿なき候補者として運動をつゞけ市役所前の個人演説会場、五月橋から手錠方面の捕物は人もまだ記憶にのこつている。今回は晴れて地上からの立候補でどれだけ伸びるか関心のマトである。

無所屬

佐藤守男氏が久留米を中心に青年層の支持を得て出馬している。三区最少年齢（三十七歳）ではあるが保守系に属しているので積極的な支持層を有していない。

春二題

金はなくとも

男子を壓して主婦チーム優勝

宮前地域分会観桜バレー大会

万田鉱が閉鎖されたのを悲しんだ訳でもなかろうが、万田公園の桜には虫がついて今年の開花は余りパッとしない。それでも連日の好天気に恵まれてこゝ四、五日相当な花見客が群れて居るが、三川支部宮前地域分会では五日の日曜日同公園コートで観桜バレー大会を擧行、青年男女、主婦の三チームに分れて熱戦敢闘（？）の結果青年男子が女子を破り、それをまた主婦チームが堂々圧して見事優勝の栄冠を獲得、青年男子奥さん連中に遠慮した訳でもあるまいが、勝鬨をあげる婦人チームを横目に照れ臭さそうなニヤニヤ笑い。

會費50圓也

四山の部内花見

方面を変えて四山を訪れると山の神様の桜はまだ六分咲き、花見客もチラホラだつたが社宅の主婦が三人連れ、何れ同じ隣組の人でゞもあろうが花の下にムシロを敷いて仲好く御辨当を食べて居る姿が目についた。聞くと近いので時々こうして御昼を一緒に食べに来ると云う。御馳走と云つて別に作らず御握りだけ如何にも労働者の妻らしくつゝしまやかな、それでいてハタの見る目も快い団欒の姿だつた。

尚この日四山鉱の八方機械部内の人達が家族同伴で万田に花見に来て居たが会費一人五十円也、それでも結構楽しく、陽春の一日を花に浮かれ心の洗濯をするには十分なようであつた。

労力の軽減になるか

―三作の新鋭5トン電氣爐―

製作所では鑄物工場の混砂設備につゞいて、かねて同工場内に設置中であつた鑄鋼用五トン電気炉の完工式をこのほどおわつて、現在能率増進に一役かつている。何しろこの種の電気炉は九州にタツタ一臺、日本に三臺というしろもので名古屋の大同製機がアメリカの特許権をかりて共同で製作したとのことで設備費は別として三・〇〇〇万円もすることで、従来の二トン及び三トン電気炉に比べて電力の節減、熔解時間の短縮、素材注入の簡素などで生産コストも従来に比べて二割安になるとのことで、同電気炉の主製品はカツペ、歯車、炭車車輪などである。

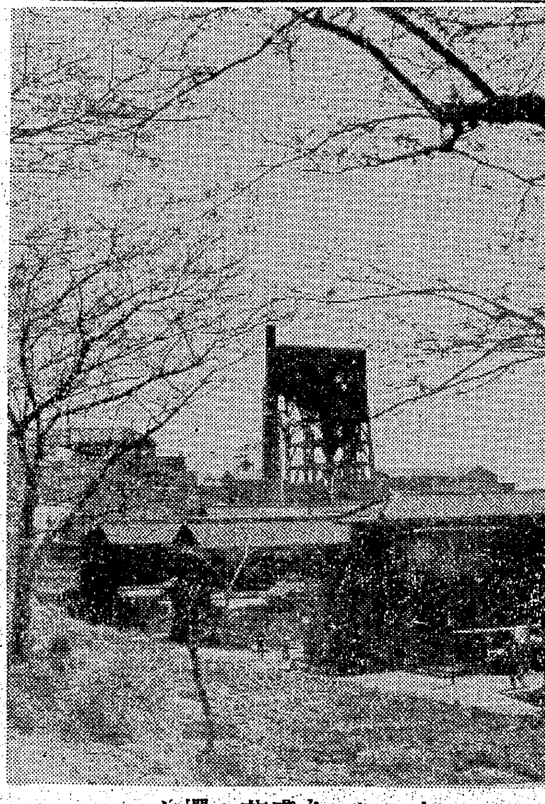
据付けて五日目、現場を覗くと、恰度バケツトに屑鉄を満載して炉に投入するところだつたが、すべての操作が電気的になされ、これまで高熱重労働とされて居た作業がくらべものにならぬ程軽減され三トン炉時分九名の作業員が現在五名で事足りると云う。ボーシンの野田さんに新鋭炉使用の感想をうかゞうと

何分まだ五日目なので取扱いに馴れて居ませんが、能率が非常に好いと云う事だけはたしかです。日本に三臺、九州ではたつたこれ一臺との事で関係方面から一齊に注視されて居るので責任を感じて居ます。

尚三作支部石橋副支部長は

従前鑄物工の中で電気炉関係の職間指数は他職種にくらべ低過ぎたきらいがあり、新電気炉を据付けた事によつて多少でもこれまでの苦しい労働が緩和されると云う事であれば、その点からだけでもよろこばしい事だと思う。と語つた。

5トン電氣爐の湯出し


ヤマも櫻の花盛り　6日四山にて

熊本縣一區の展望

定員五名に前議員の全部が立候補して前回落選組もそのほとんどが出馬し十名の立候補である。

熊本、荒尾の両市に飽託、玉名、鹿本、菊地、阿蘇の各郡で典型的な保守王国である。こゝでは革新陣営より前回元位で当選した坂本泰良氏を三鉱労組はじめ労働者が推薦し、彼の人となりを炭労、電産ストで知つて人気は上昇し今回も当選さすべきだと党と組合が一体となつて猛烈な選挙戦を展開している。

社會黨左派

社会党（左）の熊本県連会長として絶対の支持をうけ大地評、荒尾地評その他労働大衆の推薦により坂本泰良氏を推薦、玉名、荒尾を基盤として労働者の支持をうけ当選確実を期して前回より以上の成績をあげる様に動いている。

社會黨右派

松前重義氏が前回は無所属で出馬したが今回は右派社会党県連会長として堂々の出馬で右派系の組合と逓信院総裁の時の股こうがたのみに出馬している。

自由黨

松野頼三氏が父親鶴平氏の地盤を基礎に首相秘書の肩書で立候補、それと前回落選したが元衆議院議員郵政政務次官の肩書を有する寺本齊氏が出馬　改進党王国を自由党王国に切替えるべく懸命の努力をなしている。

改進黨

党の大ボスとされている大麻唯男氏と元熊本市長で党の県支部長である石坂繁氏、また党の中央委員である藤田義光氏の三氏が出馬して改進党王国の再現を期しているこゝ熊本でも戦争か平和かの問題で憲法改正をスローガンに掲げている同党に対して革新派及農村青年の一部が反対をしている三名の当選を期しているがどの程度の進出をするかが見物である。

鳩山自由黨

湯川康平氏が鳩山分党の県連委員長として花の熊本を舞臺に懸命の努力をなしている。経歴で翼壮本部参与の肩書で鳩山自由党掘出しとして吉田自由党との対決に駒を進めている。

共產黨

党県連委員長の井上栄次氏が元財中執委の肩書で運日市内では三輪車をもち、市外進出では赤旗をなびかせて頑張つているが、も果して保守の濃厚なる熊本でどの程度の進出をするかが注目の的である

無所屬

一区での一番の曲者として各候補が警戒している大久保武雄氏が前回の次点を挽回せんとして出馬している。彼も大牟田の荒木候補同様会社の大いなる支持と元海上保安庁長官の肩書で頑張つているが再軍備反対の左社地盤えの進出、坂本候補の地盤切崩しが優位になるの勝算をたてゝか組織票の切崩しに懸命である。彼の海上初代保安庁長官が再軍備反対と激突している。

焦点

別項所報の向坂博士らを囲む座談会で話題の焦点となつたのは流石に再軍備の問題だつた「錠前論」「消防ポンプ論」等まことしやかな再軍備論が流布され、今度の選挙でもこれが保守と革新対決のキー・ポイントとなつて居る折柄、当日の論議の中から特にこの問題をとり上げてこゝに再録する事とした（答える人向坂博士）

自衛軍も不必要

再軍備を欲するのは資本家だけ

向坂博士の反對論

問＝再軍備をやつては何故悪いのか一般にはまだ十分納得が行つて居ない。明確な反論を御願いしたい。

答＝結論から先に云うと私は自衛軍を置く事にも反対である。

朝鮮水域の問題は日本がアメリカに加担して北鮮とは戦争状態にある事から起るのであつて講和のやり方（単独講和）の方が問題だ。軍備の有る無しの問題ではない。いわゆる再軍備とは軍隊を作る事であり、それは自動的に発展する条件を作る。自衛軍を置けば日本が守れるかといえば答えは全くノーである。日本の工業家は戦争が存続し、軍備が持たれる事によつて軍需利益を得る事が出来る。ただそれだけの目先の利益だけで再軍備を唱えて居る。

問＝世界で軍備を持たないのは日本だけである。果してそれで好いものかどうかという疑問に対して極め手を持たない。

答＝日本が軍備を持たないという事は誇つて好い事だと思う。スイスやスエーデンさえ軍備を持つて居るが、それらの国が侵略をうけなかつたのは軍隊を持つて居たからではなく戦略的な事情に基くもので、その証拠にはより強大な軍備を持つていたベルギーをドイツは突破、更に難攻不落をうたわれていたマジノ・ラインも踏みにじつたではないか自衛軍程度の軍備を持つて見たところで問題にはならない。戦つて殺し合をやつた方が好いか、それとも戦わずして仮に占領されるとしてどちらが好いかといえば私は躊躇なく後者を選ぶ

問＝国際社会に加わる上に於て軍備を持たなくても対等な外交関係が保てるか？

答＝軍備があるなしに拘らず日本は劣勢だ。現在二、三流の国でもベルギー、スエーデンのように国際運盟で強い発言力を持つて居る国がある。それは優秀な資源を持つているからで、日本も軍備に使う金を科学、文化に注ぎこんで優秀な安い商品を沢山作る事が肝要である。

寫眞は向坂博士

咲誇る櫻の下で

観櫻スケッチ大會（三川支部）

三川支部では五日午前九時から万田公園で観桜スケッチ大会を開催この日花曇り気味ではあつたが風もなく寒くもなく、花は七分咲き見頃には少し早いがそれだけに酔客の姿もないという絶好の条件に恵まれて朝来各地域分会の児童部長さんに引卒されて定刻までに集つた者三百七十名、何れも小学校一年から六年までの学童で、山田教宣部長の挨拶の後プールのフチや池の傍など思い〳〵に場所を占めて無心に写生三まいにふける。やがてお昼、楽しいお弁当を開き合つて三々伍々家路についたが作品は組合で審査の上十五日展示会をひらき優秀作に夫々賞品を贈る事となつて居るが、そのまた賞品というのが先の長期ストの時温い心をこめて友誼団体から送られた慰問袋とあつて有難味も倍加されよう。

無心に寫生する子供達

企業合理化反對

高松労組が闘争に起つ

昨年六月に日炭高松に於ては竪坑が完成して八百名の人が竪坑から入昇坑するようになつたが、今迄斜坑から入昇坑していたのが竪坑からやる様になつた結果八時間労働が八十分の延長とこれに伴い、標準作業量引上げとなる。

即ち三月二十四日の団交に於て実労働八十三分延長したので二四%の標作の上昇は妥当である。会社としては二〇%引上げを実施すると一方的な案を提示して来た。この結果直接夫に就ては一二%の上昇、運搬夫は五%引上げとなる。「若し組合が了承しない場合には三月の鉱賃から暫定的に実施する」と労働者の犠牲の上に実施を押しつけて来た。

この様な事になると実働時間の延長で直接夫は、一ケ月二千数百円の減収をみる様になり、組合としては種々会社と協議してみたが貪慾極りなき会社はその態度をあらためようとしない。組合は遂に話合のまとまるまで竪坑から入昇坑しないと云う基本的方針を決定し、直ちに職場に指令を発し四、五日大会を招集しスト権を集約し、組合全体の闘争の準備を進めている。尚三十日の福炭労地方委員会で物心両面の援助を決定した。

新宅君が二種目に優勝

去る廿九日門司で行われた福岡陸競の記録会に出場した三鉱の新宅直選手（本所）は走巾跳六米三六、走高跳一米七五で二種目に優勝、雨の中での記録なだけに高く評価されよう。

聲

M・S生に答う

三川支部　浜辺幸利

機関紙「炭労」「みいけ」に就いてM・S生の述べられた所見に一言物申す。

ソ連一辺倒から成る「アカハタ」と我が機関紙の持つ使命は敢えて説明するまでもなく、その性質の異なる事は判然と識別されるであろう。中性的な一般新聞と違つて我々の機関紙は組合員の一人々々が眞実の中に生きる為の抵抗、この結合体の抵抗であつて、これも各自の主観によつてその機関紙が組合員に対して常に刺戟するような言辞を弄しているとか、組合員の恐怖感を怒りに変えて政府、経営者側に対抗させる手段に利用されているとか、やれ政治色云々等になつて来るのだが。機関紙が労組対政府、経営者側の雰囲気において事実を曲解し又誇張して報導するならば我々も前者の如き見方になつて来る。然しながら過去を顧り見、将来を洞察して見ても我々に対して資本家は事実低賃金と労働強化を加え、政府は直接的な弾圧として破防法制定、労調法改悪の既成事実、更に労基法改悪、スト規正法制定等の企画が実証されて居る今日、自ら怒りと抵抗の眼が向けられるのは当然な事であろう。かゝる現実において我等の機関紙は徒らに扇動的な怒り又は抵抗ではないと確信する。だからといつて盲信的にそれ等を許容し冷静な判断と批判を疎にする積りではない。

次に労組の選挙具体策においても左派社会党一辺倒の傾向があると指摘されているが、これを色眼鏡で見るとは余りに卑屈な偏見であると思う。勿論民主政治においてその政治家は一党一派に片寄らず広く他党の主義をも尊重し協力しスムースに国の舵師を司るのが目的であるが、果してこれを実践行動して居る党が幾つあるか、現在の政党は総てが金銭にものをいわせ党利党略に一途な顔ばかりではないか。かゝる観点に立ち自ら一般が打算的になるのはもう一般の常識となつて居る今日、過去においても我が労組が未曾有な六十余日というスト期間中において日夜ストの円満解決に奔走してくれたのは左派社会党ではなかつたろうか、その左派を支持し一人でも多く議会に送り我々労働者の地位向上が少しなりと実現さるれば、各人各様の支持政党もヘチマもあるまい。他の政党支持者も文句はあるまい。

次に文字の件だが目をおほうばかりに戦後著しく氾濫して居る。これは機関紙に限らず一般新聞においても指摘出来るものと思う。これは合せて編集員の方に御一考を要望する次第であるが一概に独占用語といわれない点もある。それは時代に伴う我々の知識低下に起因するのではないかと思われる節もある。この解決の一つとして戦後発刊された新用語辞典等を購入しある程度時代の流れに呼応する事も必要ではなかろうか。

「聲」欄原稿募集

四百字詰二枚前後、紙上匿名可なるも、原稿には所属　氏名を明記して下さい。

―映畫紹介―

人間の善意と魔性をえぐる

東映の「蛇とハト」

週刊朝日に連載された丹羽文雄の原作小説の映画化。企画は「加賀騒動」に次ぐ柳川武夫、脚本は棚田吾郎、舟橋和郎が共同執筆、監督は「泣虫記者」の春原政久が担当、新興宗教に取材して、人間の善意と魔性を鋭くえぐつた東映東京の異色問題作。出演者は宮城野由美子、伊豆肇、滝沢修、舟橋元、日高澄子、三島雅夫、星美智子、沢村貞子、加東大介、山形勲という野心的な顔ぶれ。混とんとした世相を背景にそこで根強い生活を営む狡猾な人間性を描破し、一青年と一女性の追いつめられた姿を追求、総ゆる憎悪をこめて社会に抗議をなげる激情のドラマである

なお原作者丹羽文雄氏は次のように語つている。

この長篇の中で私はいろんな問題を提出できたと思つている。

一個の企業として始められた紫雲現世会でも、信者の中には本当に救われた人間もいるという事である。救われ方が高度とか低級とか、そんなことを区別する筋のものではないと思う。教義は立派に出来上つているのだ然しその立派さが、知識のよせ集めに似ているという事が、問題になる。また教祖とか盟主の傑物ということも、どういう意味で傑物かという点で問題になるのである。新興宗教が比較的生活に困らない階級の間にしかひろまらないということにも、近代的な特色をもつている。伽藍仏教と在家仏教の相違も、もう一度考え直されてよいことだと思つた。私はこの小説で、一つの教団が成立するまでの経過を楽屋裏から描いた。新興宗教の成立が皆々こうであるとはいわない。然し千の数に上る宗教の存在は安直な教団の創立であり一度考え直す必要があるだろう

混血兒

混血児問題とまつこうから取組んだ映画が目下蜷プロで第一回作品として作られている。題名は「混血児」演出は「きけわだつみのこえ」の関川秀雄監督、夏川靜江、大塚道子らとともに約卅名に近い混血児が出演して、横須賀、鎌倉で現地ロケを行い、近々にクランク・アップするところまでこぎつけたが、この製作を通じてスタッフやキヤスト一同は「混血児という新しい社会現象がいかに困難な問題を持つているかがよく判つた」と述懐している。